東議員（民主県政会）

平成 28 年２月 29 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）スーパーグローバルハイスクールの取組等について（関連質問）

今次定例会においてグローバルリーダー育成校に係わって多くの視点から問いただされたところである。

多くの疑問点が出ることは言い換えれば，提案内容が共有できていないことの証左でもあり，質疑を聞くほどにハード・ソフト課題山積だということが明らかになった。

まず，提案内容を少しでも共有するために，既にグローバル教育に取り組んでいる広島県立広島中学校・高等学校について伺う。

同校は，２００４年に広島県の教育を牽引する役割を担って開校した。

今回提案されているグローバルリーダー育成校の，いわば「先駆け」とも言えるもので，同校は，文部科学省が進めるスーパーグローバルハイスクールの指定を受けて取り組んでいる。

１４年２月に策定された「今後の県立高等学校の在り方基本計画」においても「グローバル社会に生きる力の育成」を掲げ，ＳＧＨの仕組みを活用することを示してる。

そこで，広島県立広島中学校・高等学校が文科省の指定にあたり，どのようなテーマ,目的で申請を行い,これまでそのような取組を行っているのか，また，取組に対する評価を伺う。

（答）

広島中学校･広島高等学校は,「持続可能な社会の構築に貢献できるグローバル・リーダーの育成」ということをテーマに，課題研究における系統的な探究学習でありますとかフィールドワーク等を通して，生徒に「高い志」や「批判的思考力・協働力・創造力」を育むことなどを目的に，学習指導要領に基づき，教育内容や指導法・評価法の開発等に取り組んでおります。

例えば，高校１年次の「総合的な学習の時間」で，グローバル社会で活躍している方々から講演を聞いたり，その中で得た情報やアイデアなどをもとに海外留学生等とディスカッションたり，最終的に，グループによる発表それから小論文にまとめるなどの学習活動を行いました。

このような学習活動を通して，生徒は，個性や文化を尊重する態度や英語によるコミュニケーション能力が向上するなど，グローバルリーダーに必要

な資質・能力を伸ばしているところでございます。

広島中学校・広島高等学校のこのような資質・能力を伸ばす取組というのは，本県が進めております「広島版『学びの変革』アクション・プラン」に基づく「主体的な学び」を促す授業づくりのモデルとなっております。

教育委員会といたしましては，これらの成果を県内すべての高等学校等への普及に努めているところでございます。